

「福岡コロナ警報」の発動と不要不急の外出自粛要請を受けて

福岡県は28日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「福岡コロナ警報」を発動しました。県内全域において、日中も含め不要不急の外出を自粛すること、特に21時以降の徹底を県民に要請しています。期間は7月29日から8月29日までの1カ月間。福岡コロナ警報の発動を受け、古賀市として対策本部を開催し、今後の対応方針を決定しました。

公共施設は21時まで閉館します。市主催行事は原則として開催しますが、それぞれの行事ごとに感染拡大防止策を徹底し、オンラインの活用なども検討します。

市民の皆さまは、仕事や学業、通院、買い物、健康維持の運動などを除いた不要不急の外出を自粛するとともに、県境をまたぐ不要不急の移動、特に緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域など感染が拡大している地域への移動を自粛してください。そして、日常生活における「3密」回避とマスクの着用、手洗いや消毒、換気などを徹底してください。特に、マスクを外しての多人数での会食はリスクが高く、あらためて注意をお願いします。

県は「出勤者の7割削減」をめざすことも含め、職場への感染防止策の徹底を要請しています。事業者の皆さまには、可能な限り、テレワークや在宅勤務、時差出勤、分散勤務の実施などへのご協力をお願いいたします。古賀市役所も率先して取り組んでいきます。

古賀市は新型コロナワクチン接種を推進しています。65歳以上の高齢者の陽性確認が減少しており、ワクチンによる感染抑制効果とみられています。現在、50歳代まで予約を受け付けており、30日には40歳代、8月5日には30歳代にも広げていきます。政府が目標とする10～11月の希望者の接種完了に向け、着実に取り組んでいきます。

そして、感染した方やそのご家族、医療従事者への差別や偏見を許さないという姿勢を堅持しましょう。古賀市はこれからもシトラスリボン運動でやさしさの輪を広げていきます。

私たち一人一人の命を守るため、市民の皆さまのご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。引き続き、共に頑張ってください！

令和3年7月28日
古賀市長 田辺一城